

# 月刊反トマホーク通信

No. 46

89. 8. 20

定価 100円

〒150 東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502 トマ喰い虫社 ☎03(498)6095 044(63)5101 FAX.044(63)9907  
郵便振替 東京6-136148



「平和を愛する女性たちが反核平和運動の主体として我が民族の生存と平和のために立ちあがってこそ…」  
（韓国公害追放運動連合発行「生存と平和」第五号より）

평화를 사랑하는 여성들이  
반핵평화운동의 주체로서  
우리민족의 생존과  
평화를 위해 나서야...

米国、演習計画を公式発表

## みんなPACEXに反対だ

8/27はヨコスカへ！  
平和船団、デモ...

フェイス・ドハティー 海の非核化を語る  
(グリーンピース・オーストラリア)

8. 6ヒロシマからのレポート

トマホークの配備を許すな！ 全国運動

●維持会員（月間会費）

団体 1口 2000円  
個人 1口 1000円

●参加会員（月間会費）

団体 1口 1000円  
個人 1口 500円

●通信会員

年間 1口  
2000円

あなたも仲間にも！（会費は本誌購読料を含みます）

八月八日、アメリカ太平洋軍は「太平洋演習(PACEX 89)」を九月から十月にかけて太平洋全域で実施すると発表した。

演習の内容、規模については明らかにされていないが、アリユーション列島からオホーツク海を主な舞台とする、米ソ全面対決を想定した史上最大規模の、これまでにない挑発的な軍事行動となることは間違いない。

八月十六日には、空母ミッドウェーが横須賀を出港していった。PACEXはすでに始まっていると言わなければならない。

マスコミの扱いは信じられないほど小さいものだった。首都圏でつかんだかぎりでは、「日本経済新聞」(左の切抜き)と「ジャパン・タイムズ」(いずれも八月九日)そして「NHKニュース」といったところである。いったいどうなっているのだろうか。もはや

こんなことなど「事件」ではないほどに、この国は「戦争ゲーム慣れ」してしまっただろうか。

私たちが一番に問題にしたいのは日本政府のタイドだ。「ジャパン・タイムズ」によればアメリカは今月初め、日本にPACEX「そのものに」参加するように要請した。これに対して防衛庁は次のようにコメントしている。「いずれにせよ、日本はPACEXそのものには参加しない。アメリカと共同してとるすべての作戦はアメリカ軍との間で定期的に行ってきた同様の演習の枠組みの範囲で行われることになるだろう」(同紙)。PACEXへの参加が「集

団自衛権の行使」を禁じた憲法への明白な違反行為であることを彼らもよく知っているのだ。ところがである。だから、参加しないのかというところ、こういうのだ。「同じ時期に米軍の参加部隊の一部と自衛隊が共同訓練をする形とする」ことで「月内に参加を決定へ」(「日経」)。(四ページへ続く)

# 米太平洋軍 PACEXを公式発表

九月から二カ月、太平洋は戦場になる。ウソとマヤカシで憲法を反古にしようとする日本政府。

みんな PACEXに 反対だ!!



# 米軍の太平洋演習 8/9(89) NK 防衛庁、月内に参加を決定へ

防衛庁は八日、米太平洋軍が九月から予定している初の統合演習「太平洋演習」(PACEX)に米側から正式に参加要請があったことを明らかにした。同庁は日本側の参加部隊、スケジュールなどについて検討中としているが、海部政権の発足後に結論を急ぎ、月内に同演習への参加を正式決定する見通しだ。韓国、フィリピンなども参加予定の同演習に自衛隊が

ストレートに参加することは、憲法が禁止している集団的自衛権の行使につながる恐れがあるため、同じ時期に米軍の参加部隊の一部と陸、海、空自衛隊が共同訓練をする形をとる。米軍の発表によると、太平洋演習は九月から十月の間に太平洋全域で実施する。参加部隊の規模などは一切明らかにされていないが、米太平洋艦隊を主力に在日、在韓米軍なども動員されるとみられ、米軍の対ソ戦略を色濃く反映するのは確実。



## 演習の中止を

◆ ニュージーランドのキリスト者が各国首脳に手紙

G・ブッシュ米大統領殿  
山崎日本国防衛庁長官殿  
ノ・テウ韓国大統領殿  
アキノフィリピン大統領殿

オークランド・カトリック平和委員会はこの九月から十月にかけてアジア太平洋地域で計画されているPACEX演習に反対します。この大規模な演習は、世界の緊張緩和が進みソ連政府が公開と軍縮への動きを見せている今日、極めて挑発的なものであると私たちは考えます。

米国とソ連の全面対決を前提とし、ソ連の間近で行われるこの演習は、緊張を激化するばかりであり、これまでの成果を台無しにするものです。貴政府がこのような演習を行うことに対して、ソ連が極度の警戒心を抱いたとしても、それは責められようもありません。私たちは、日本の自衛隊が参加することを残念に思います。それは日本が米国の軍事戦

略により深く統合されることへのしるしだからです。また、フィリピンの参加は悲しむべき経済的、国内的状況から見て残念なことです。端的に言って、私たちはこの大規模かつ挑発的な演習はまったく不必要なものであり、国家間の協力にこそより大きな努力が注がれるべきであると考えます。多くの国々が貧困と飢えに苦しんでいます。世界の生態系は悲しむべき状況にあります。このような戦争ゲームによる資源の浪費は実に悲しむべきことです。もし、この演習が強行されるならば、これを最後にしてほしいと私たちは願っています。また、より大きな努力が和解と平和の創造のために注がれることを願います。

カトリック・オークランド教区  
福音と正義と開発のための委員会

署名

(二ページから)  
「株はいただきます。ただし後でバレルといけないうので秘書がもらったことに…」といったリクルート政治家とまったく同じやりくちではないか。

情ない。こんな人間たちに私たちは「安全保障」を委ねてしまっているのだ。ともかく、抗議を。あてさきは、

東京都港区赤坂九一七―四  
防衛庁内  
防衛庁長官

東京都港区赤坂一〇一五  
アメリカ合衆国大使館気付

G・ブッシュ大統領

そして、行動を。

核まみれの日本はごめん

8・27ヨコスカ行動

八月最後の日曜日 午後一時から

●横須賀臨海公園



# みんなでも 考えよう！ 非核の法制化

「長崎平和宣言」より  
また世界において中南米、南太平洋は非核地帯化され、ヨーロッパにおいてはINF(中距離核戦力)全廃条約が締結され、東西首脳が拮抗、草の根運動の高まりによって、東西ヨーロッパの国際軍縮は、ますます前進しつつある。しかるに海洋配備のINFは、アジア・太平洋地域に集中し増強され、まさにこの地域は世界の核の最前線基地である。今こそ非核三原則の立法化、アジア・太平洋地域の非核地帯化に積極的に取り組むべきである。

空母タイコンデロガによる「水爆水没事故」の衝撃が日本列島を駆け抜けたこの夏。各地で開かれた反核平和の様々な集いの中で、打ち出されたのが「非核の法制化」であった。非核三原則の「空洞化」があまりにも生々しい事実によって突き付けられてしまった今、これを、本当に実のあるものにし、この国の非核化を実現するためには、たんなる「国是」ではなく拘束力のある法律にしなければならぬ、というのがその趣旨だ。長崎市平和宣言(この宣言は他にもいくつもの素晴らしいことを言っているのだが)の眼目もここにあってと言っている。いだろう。

何も法律になどしなくても、やる気があればできるのだ、という声もある。しかし、今、いわゆる「保守」の人々の中からもこの声があがっていることに、ある必然性を感じざるをえない。

皆で考えてみようではないか。この国の「非核法」。どんなものにしたらいいのか。そもそも、現状はそれを必要としているのか。本紙では、しばらくこのテーマをめぐる様

## ●●北西太平洋アピール、賛同は460人に●●

- 今井隆雄 (呉市)
- 岩佐 宏 (呉市)
- 大原道子 (呉市)
- 香川一彦 (呉市)
- 加藤 茂 (呉市)
- 神垣裕子 (呉市)
- 銀杜 浩 (明治大学教授・東京都)
- 迫田浩二 (呉市)
- 佐々木比呂恵 (呉市)
- 菅野真治 (地方自治体労働者・山形県尾花沢市)
- 竹田幸子 (呉市)
- 中野正明 (共育・共生をすすめる広島県連絡会代表・広島市)
- 仁木信雄 (呉市)
- 西川恵子 (呉市)
- 西田任子 (呉市)
- 藤井祐毅 (上越市)
- 藤本美智子 (呉市)
- 松崎早苗 (化学研究者・茨城県つくば市)
- 宮田史郎 (呉市)
- 八城民子 (呉市)
- 山田朱美 (呉市)
- 山本一成 (大阪市)
- 山本能弘 (呉市)
- 渡辺和史 (呉市)

アピール「北西太平洋に軍縮の流れを作り出そう」にはその後も次の二十四人の皆さんから賛同のお便りが寄せられ、賛同者は合計四六〇人になりました。

## 意見と提案

憲法違反の軍備はいらない。非核三原則を  
ないがしろにするな。(Y)

出さなければと思っていて、遅くなつてしましました。アピールを実現するために、自分が職場で地域で何をやるかが、問われていると思います。

自衛隊員数の削減を要求します。二七万の定員を現実的充足数の二四万へ、以後順次削減へ。(M)

日本の軍拡を止めるには、日米安保体制については「米国の自身の安全保障にとって有益」(外務省の米国民の対日世論調査結果。86%の評価あり)なので、米国の圧力を少なくすよう米国民に働きかけることが肝要と思う。(K)

合掌

資料パンフなど送って下さりありがとうございます。

ございます。

何故トマホークだけでSS20にも言及がないのかとも思いました。日米安保体制への抗議、対日本政府抗議の為にのみアメリカのトマホークに反対するのですか。米ソ含めてまず核兵器として軍備を縮小、廃絶への訴えと世論の喚起を思います。

リクルートも、消費税も、象徴天皇制も、自衛隊も、ODAも、教科書検定もその根は一連のもので、エゴイズムに集約する価値観が元凶と思われまます。それが、女性差別、部落差別、その他公害、人権問題となっていることを思います。

運動の原点は人間のエゴイズムに集約する価値観の変革による、エゴイズム解放に集約する普遍的人間の主体確立にあることを思います。

そしてそれと共に様々な社会運動がともなうわけで、その一環として、反トマホーク運動もあり、反基地の運動もあり、反原発の運動もあるのでしょうか。

自然、生命、人間の尊厳と平等を願うものとして連帯します。

合掌

(五月十五日までに賛同のお返事をいただいたSさんから、改めていただいたお便りです)

平和公園に立つ中曽根元首相の句碑前での「デルタ女の会」のパフォーマンスの一コマ。



るなど言う。彼らは相手が女性一人だとみると明らかに職権を越えたイヤラシさでグルリと取り囲み身をすり寄せてくるではないか。その言葉使いたるや、まるで悪名高き広島暴力団かと思わせるほど。小柄な私の満身に怒りが燃え、「市は何百人ものボーイ・スカウトを動員して荒木市長の平和宣言を配っているではないか。私達は心から平和を願う市

民の手で作った平和宣言を配っているのだから中止するわけにはいかない」と主張し動くとしなかった。しばらくやりとりをしていると何人かの仲間がかけつけてくれ抗議がさらに移ったので、私は最後までその場で配り終えることが出来た。

市と警察が何千人を警備に動員していたのか私は知らないが、ここ数年の警備の重々しさは平和を願う式典に全くそぐわない。反戦・反核に真剣に取り組んでいる市民を締め出しての形式的な式典が本当の平和祈念式といえるのだろうか。私達の配ったビラを受け取ってくれた市民一人ひとりが、それを市長による広島歴史を全く無視し、現在日本のおかれていた核状況を軽視した「平和宣言」と比較し、真の平和実現のためには何をなすべきかを考えてくれる事を強く願いつつ次の行動であるドーム前から中国電力本社の反原発デモに移った。

### 今後の運動への展望

十時からは『総評解散後の反戦・反核運動』をテーマに全国会議が開かれた。運動形態としてはネットワークの強化、市民・労働運動のより一層の協力、各地での

活動を全国的にまとめていく全国的センター設置などがあられ、問題意識の点では被害者から加害者への視点移行でヒロシマの風化を防ぎ、国家的統合をねらい強化されつつある天皇制に反対しようとの提起がなされ、これらを各グループでまた全国レベルでの検討課題とすることが合意された。

私達の反トマホーク運動では当初から全国運動として常に全国各地と連絡し合う中で統一行動、連携行動、支援行動を行ってきた。この形態が運動をより力強いものに育てて来たと思う。広島地区でのネット・ワークである『コースリンク広島・呉・岩国』も多くの独立した団体・個人からなり、常に情報や意見を交換し合いながら運動の力強さと広がりをもっている。

個々のグループの特性や力量を十分に活かしながら、必要時に大きなパワーとして結集出来るという結合のしかたは、非常に民主的であり有力であると思う。ネットワーク作りと同時に、多種多様な自立したグループそれぞれが意欲的に参加出来る運動プログラミンがますます求められるだろう。民衆の中からわき出る意志をうまく受け止めひとつのパワーにしていく。本来の民衆運動構築に今私達は力を注がなければならないと決意しつつ会場を後にした。

## ヒロシマ

# 私たちの「八月」

塚原章子

トマホークの配備を許すな！呉市民の会

今年の反戦・反核広島集会は「ヒロシマは核と軍備と天皇を拒否する！アジア民衆の連帯をめざして」をテーマに開催された。

### 全体集会で

二百五十名の参加を得た五日の全体集会では、まず長崎および地元四団体からの論点提起に次いで国内外運動体からのアピールが行われた。中でもアジア太平洋地域からの戦争犠牲者で旧日本軍の残虐行為の証人として訪れた人達の証言は、これまで、加害責任を認めなければアジアの人々との真の連帯は結べないと言いつつ、積極的には見ようとしなかった私の胸をうった。

最後に「PACEXに反対し、核廃絶を闘いとう。脱原発社会創造をめざそう。天皇制の強化を許すな。アジア民衆の連帯で非核アジアを実現しよう」を要点とする集会アピールを採択して全体集会は閉じられた。

### 平和公園で

六日午前七時、平和公園に集合した約四十名は、「市民による平和宣言」を印刷した九千枚のビラ配りにかかった。私が元安橋のもとで配り始めると間もなく、市職員と警察五、六人がやってきて、ここでビラ配りをす

江田島に核搭載艦が入港  
七月二十日、ミサイル巡洋艦ステレットとミサイルフリゲート艦ロッドニー・デイビスの二隻が入港した。「海上自衛隊の幹部候補生と交流する」のが目的。「コースリンク広島・呉・岩国」の人々は緊急の抗議行動を行った。



# 反核ホット ライン ⑰ だより

## 入港情報

- 89・7・21、8・15
- P級II (原子力潜水艦パミット級)
- S級II (原子力潜水艦スタージョン級)
- L級II (原子力潜水艦ロサンゼルス級)
- (7・27) パミット(P級) 午前8時  
横須賀を出港
- (8・4) ニューヨークシティ(L級)  
正午 横須賀に入港
- (8・5) ニューヨークシティ(L級)  
午後4時 横須賀を出港
- (8・7) サム・ヒューストン(L級)  
正午 横須賀に入港
- (8・13) クイーン・フィッシュ(S級)  
午前10時 横須賀に入港
- (8・14) サム・ヒューストン(L級)

89年上半期原潜寄港一覽表 (89・1~6)

回数	寄港日	寄港地	艦名	日数
1	☆ 1/9~12	ホワイトビーチ	ロサンゼルス(L級)	4日
2	☆ 1/28~2/9	横須賀	ホノルル(L級)	13日
3	☆ 2/3~9	横須賀	ロサンゼルス(L級)	7日
4	2/23~3/3	横須賀	ハドー(P級)	9日
5	3/3~11	横須賀	ガードフィッシュ(P級)	9日
6	3/6	佐世保	ハドー(P級)	1日
7	3/22	佐世保	ハドー(P級)	1日
8	☆ 4/10	横須賀	ホノルル(L級)	1日
9	※ 4/18~19	ホワイトビーチ	ルイビル(L級)	2日
10	※ 4/19~29	横須賀	シカゴ(L級)	11日
11	※ 5/8~11	横須賀	ルイビル(L級)	4日
12	※ 5/9~13	横須賀	ヘレナ(L級)	5日
13	5/17~29	横須賀	ハドー(P級)	13日
14	☆ 5/29~31	横須賀	ホークビル(S級)	3日
15	☆ 6/10~19	横須賀	ニューヨークシティ(L級)	10日
16	☆ 6/30~7/5	横須賀	ドラム(S級)	6日

☆はトマホーク搭載型原潜、※はトマホーク用垂直発射台搭載原潜。

(8・15) 午後4時 横須賀を出港  
クイーン・フィッシュ(S級)  
午前11時30分 横須賀を出港

\*1989年8月15日現在各港への原子力艦の入港回数は、

横須賀 17回(うち原潜17回)  
佐世保 2回(うち原潜2回)  
ホワイトビーチ 3回(うち原潜3回)  
計 22回(うち原潜22回)

## VLS原潜

### 寄港増加

今年の1月から6月にかけての、米原潜の寄港回数は、左上の一覽表にもあるように、16回、10隻が入りました。そのうち、トマホーク搭載艦の寄港は、11回、8隻です。その中で、特に際立っているのは、今年の12月に初寄港したトマホーク用垂直発射台(VLS)付きの原潜が、今年になって相次いで寄港していることです。それと、他の港には寄港が減っているが、相変わらず横須賀に原潜の寄港が集中している。改めて、海洋での核軍拡の要としての横須賀の役割がクローズアップされます。

停泊日数が約6ヶ月間で99日あり、ほぼ2日に1日の割合で、核兵器と原発(動力用の)が日本の港に停泊していたことになり、核事故の危険性にも注目する必要があります。

# 海は グリーン・ピース海 フェイス・ドハテイー(シドニー) 核大国のものではない

横須賀「ネパの会」の招きで七月来日した二人の女性活動家。前号のカレン・トバキアンさんに続いての登場です。七月一日、東京で開かれた「水爆事故を問う」集いでの発言。通訳は山下史さん。

(文責・見出・編集部)

## 「秘密主義」 とのたたかい

フェイス・ドハテイーです。オーストラリアで海の非核化運動をやっています。また太平洋地域の海の非核化キャンペーンのコーデ

イネイトもしています。

アメリカの核艦船がオーストラリアに寄港するようになったのは一九七〇年代の初めからです。それに反対しようという運動もオーストラリアではほとんど成長しています。オーストラリアの平和運動のなかではこの問題にどのように取り組んだらよいかということについてずいぶん議論されてきました。なにしろ国が大きいのですから、運動のネットワーク作りも大変難しいのです。



昨年(一九八八年)オーストラリアは一連二〇〇年「白人」の二〇〇年ですが一を迎えました。海軍は、外国から沢山の軍艦を招待してシドニー湾で最大の祝賀行事を行いました。招待に答えた海軍は十六カ国。八隻の核搭載艦が含まれていました。これに対して平和運動は海外からの友人たちと協力、連帯して大きな抗議行動を行いました。

艦船の寄港問題とどう取り組むかということについては、ニュージールランドの友人たちから多くを学びました。それは、舟で海に出て、海軍に対して物理的に対決していくことによって、私たちの拒否の意志を直接伝えるということでした。こうする事によって、マスコミなどを通して、地域の人々に問題を提起することが可能であるということでした。

## 原子力艦入港情報 テレホンサービス

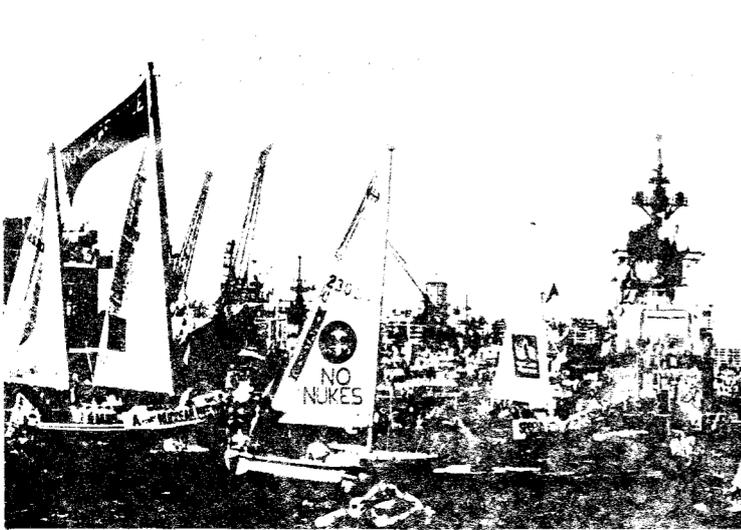
ブッシュホンで、まず 井8301、そして連絡番号 968・1071、次に暗誦番号 1071  
クロハ イレナイ

もちろんそれ以外の政治的な活動も必要です。一九八七年、議会の「外交貿易防衛委員会」が核艦船の入港問題に関する調査を行いました。これはオーストラリアに寄港する核兵器搭載あるいは原子力推進艦船の安全性に関する調査です。公式の調査で核兵器の問題が取り扱われたのは初めてのことです。この調査は政治的な議論のきっかけになりました。この調査の中であきらかに変わったのは、オーストラリア政府は米国の艦船の核による事故に関する情報を米国防府から十分に与えられていないということでした。この九月に最終報告が発表される予定です。

## 文化や言葉の違いを越えて

なぜ海の非核化キャンペーンが重要であるかについて国際的な観点からお話したいと思います。核艦船についてはいわゆる公海の通過の問題があります。核艦船は国際的な海域つまり公海を何の許可も受けずに通過しています。公海は軍隊のものではなく、私たちみんなのもので、海は、軍隊が縄張りを切り取って、好き勝手なことをするためにあるものではありません。

グリーンピースはこの立場から、バルト海のソ連海軍に対しても抗議行動をしています。昨年私たちはソ連の核艦船に対して二隻のモーター付きゴムボートで非暴力直接行動を行いました。核搭載艦に近付いて、放射能マークのワッペンを貼りつけたのです。これは、日本でも可能なことではないでしょうか。この港であれ核搭載艦が入港してきたら、そうやって、「この艦船は核を積んでいるよ」



持っているのです。この事態は「アメリカが持ち込んでいる核兵器について私たちの政府は一体どれだけのことを知っているのか」という問題を人々に提起しているのです。

## ジャービス湾での経験

グリーンピースの「海の非核化キャンペーン」の目的の一つはこのような海軍の秘密主義を打ち破り、彼らが国民に知らせたくなかったことがらを公表することにあるのです。

シドニーの南にジャービス湾というところがあります。とても美しい、豊かな海洋の生態系を持つ地域です。オーストラリア海軍はシドニー湾からここに基地を移動することを計画しました。同時にアメリカ海軍の寄港地もここに移そうというわけです。そのためにはまず浚渫をし、温帯雨林を伐採して生態系を戦争に使えるように作り変えなければなりません。

ほど前、私たちはオーストラリアとニュージーランドの海軍が合同演習を行い、演習の最後にはこの半島で射撃訓練を行う、という計画を知りました。この計画を知った平和運動グループは九人のメンバーをこの訓練予定区域に送り込みました。この九人は五日間にわたってこの地域にとどまりました。海軍と国防省はどうしていいかわかりませんでした。彼らは熱線感知器を装備したF16戦闘機で、この九人がどこにいるかを探そうとしました。しかし、アボリジニの人々がいいことを教えてくれました。カンガルーの体温は人間と同じだということです。そこで、私たちは大声を出して、たくさんのカンガルーを飛びださせて、熱線感知器を混乱させました。

この湾にあるビークロフト半島は射撃場としてすでに使われています。この岬は先住民アボリジニの人々の聖なる土地です。三週間

お互いに激励しあっていたことが必要だろーうと思います。

今は、軍隊が拡張していくような時ではありませんが、ソ連の領海近くやその他の場所ですら軍事演習をするような時でもありません。今こそ私たち市民の側が立ち上がって、軍の動きに対して「ノー」とはっきり言うていく時なのではないでしょうか。

反トマホーク運動

第11回全国会議

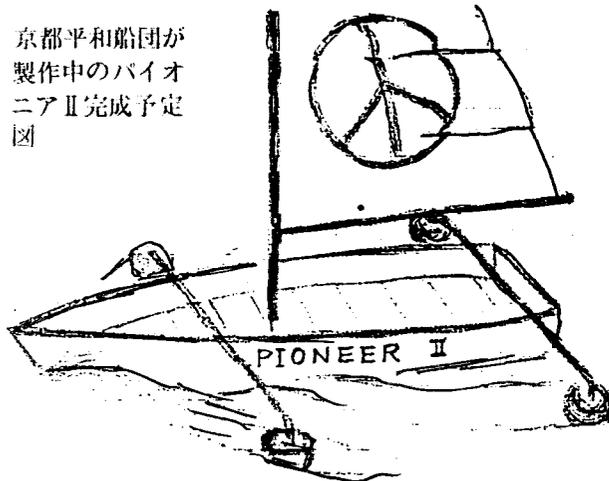
時: 11月3日~5日

開催地は長崎です。

予定をあげておいて  
下さい!



京都平和船団が  
製作中のパイオ  
ニアII完成予定  
図



会計報告

(89.7.12 ~ 8.8)

[収入]

○前月からの繰越	△ 90,676
経常繰越	159,324
借入金繰越	△250,000
○今月の収入	172,860
会費収入	62,000
内	
維持団体	0
維持個人	28,000
参加団体	0
参加個人	20,000
通信会員	14,000
カンパ収入	68,200
行動収入(PACEX)	6,000
資料収入	23,660
反核ホットライン収入	13,000

[支出]

●今月の支出	△145,734
家賃	60,000
水道光熱費	12,458
電話代	9,555
郵送費	40,317
文具代	2,500
印刷費	17,760
行動費(PACEX)	720
資料経費	1,174
反核ホットライン経費	0
郵便振替等手数料	1,250
●次月への繰越	△ 63,550
経常繰越	186,450
借入金繰越	△250,000

月刊反トマホーク通信 第四十七号

一九八九年八月二十日発行(通巻四十七号)

\*発行 トマホークの配備を許さな!全国運動  
〒一五〇 東京都渋谷区渋谷二一五一九  
バル青山五〇二 トマ喰い虫社

☎〇三(四九八)六〇九五  
〇四四(六三)五〇一

FAX〇四四(六三)九九〇七  
郵便振替 東京六一三六一四八

\*編集 反トマホーク通信編集委員会

\*定価 一〇〇円(通信会員年間二〇〇円)

求む!! スタッフ、助っ手

●編集から印刷、発送まで「反トマ通信」はすべて手作りです。ミニコミ作りに興味あるひと、平和運動の新しい情報に触れてみたいひと、イラストやデザインをやってみようかなというひと、とにかく何かやりたい!と思っているあなた、いっしょにやりませんか?  
●発送も手伝って下さい。毎月20日直後の日曜日、トマ喰い虫社の分室(東横線日吉駅下車044(63)5101)でやります。

次回の子定

9月24日(日)  
ジジ2じから。